

日本共産党 和歌山市会議員

ひめだ高宏ニュース

No.1043

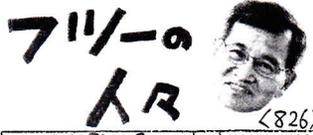
15.1.28

春はそろそろまで来ている？

風は冷たいけれどもう2月。1日の日曜日には、かとう直人さんの事務所開き。春のいっせい地方選が迫ってきています。まもなく最終補正予算と新年度予算を審査する当初議会も始まります。

だれでも使える議会図書室

市役所3階の共産党控え室の右隣に議会図書室があります。地方自治法の規定により設置された議会図書室は、一般の方も利用できます。その利用については、和歌山市議会図書室規定で、図書室の開閉時間は、議会事務局の執務時間であることか、図書の間覧は室内、室外の2種であることか、貸出期間などを定めています。議会図書室の扉は開放され、扉の横のホワイトボードには新刊図書の紹介などが書かれています。



新刊図書のホワイトボード
市議会図書室

和歌浦 昭和初期再現マップ

このボード「図書室だまり」で紹介された「一期月号」で紹介された「新刊図書」和歌浦 昭和初期再現マップと資料は、和歌山大学の米田頼司先生が和歌浦在住の松井英雄さんの手書きマップを中心に編集・発行をしたものです。鶴立がほとんど畑地だったという地図も松井さんの

た。残念ながら、この本は市販されていないので、興味のある方は、ぜひ市議会図書室でいらしてください。

こんにちは 日本共産党のかとう直人です。

(その51)

単身高齢者の生活が心配。共産党の自分の名刺を渡しながら近所をあいさつ回りにしています。今更ながら出くすのは高齢の方がほとんど留守番をされている状態です。顔を交わらせて話しかけると、今日一日、いやも、と長い間、誰とも会うことも無く、会話も無かった人ではないか、上の空のような顔です。平日の日の中、時間がたてが相手、大きな音量がむなしで感じました。きっと、あの方はその昔、家中の



かとう直人 (県議予定候補)

トア田井ノ瀬駅のホームに渡る歩道橋は、雨で水溜りができて滑るので、お年寄りや海水浴などの声もありました。トアに掛っかかりました。

学習協創立50周年記念レセプション

1月24日(土)夜、和歌山県勤労者学習協会(学習協)創立50周年記念レセプションが市教育会館で開かれました。受付で、労働学校、機関紙、スライドで50年史と経緯の冊子をいただきました。

日中友好協会和歌山市支部

1月25日(日)夜、美園町の「若菜庵」で日中友好協会和歌山市支部の総会と懇親会が開かれ、共産党から奥村のり子(議員、森下)ちよ、松坂みずほ(議員)ら、ひめたが出席しました。昨年は、目見もせず、水餃子も食べなかったこの一

年史と経緯の冊子をいただきました。同僚の顔を久しぶりに見たスライド、かほりのスピーチも感動してはいたが、昨年、ご50周年の隙間に参加させてもらいました。一スライディングしてはいたが、昨年、ご50周年の隙間に参加させてもらいました。

日本共産党

政党助成法廃止法案提出

1月26日、日本共産党国会議員団は総議院で21議席に増えて獲得した議員提案権で、政党助成法廃止法案を提出しました。政党助成金は、リクル

ート事件やゼネコン汚職などの政治腐敗の温床となつた企業団体献金を廃止する代わりに導入されました。年間320億円の20年間でも600億円の支出をしました。企業団体献金は、いまだ禁止していません。国民には消費税増徴と社会保障の負担増、サービスの切り下げを押しつけてなが

「選挙よかったね」「期待しているわ」。日本共産党が歴史的躍進を果した総選挙から一カ月がすぎた今も、筆者の周辺からは歓喜と期待の音が聞こえてきます。安倍政権による暴走政治の全体が問われる今度の国会、正面から対決するのは共産党だけです。有権者の期待とともに、責任も大きくなるのを感じます。共産党を伸ばしただけのことはあった。もっと伸ばしたい。と評価していただけるように大奮闘をしよう。26日、開会した通常国会。志位和夫委員長は議員団総会でこうあいさつしました。本堂に、その通りです。その第一歩が、国民の思想・信条の自由を侵害し、政治を劣化させている政党助成法廃止法案の提出です。21議席に躍進し、議案提出権を得た方が、さっさと総揮

「選挙よかったね」「期待しているわ」。日本共産党が歴史的躍進を果した総選挙から一カ月がすぎた今も、筆者の周辺からは歓喜と期待の音が聞こえてきます。安倍政権による暴走政治の全体が問われる今度の国会、正面から対決するのは共産党だけです。有権者の期待とともに、責任も大きくなるのを感じます。共産党を伸ばしただけのことはあった。もっと伸ばしたい。と評価していただけるように大奮闘をしよう。26日、開会した通常国会。志位和夫委員長は議員団総会でこうあいさつしました。本堂に、その通りです。その第一歩が、国民の思想・信条の自由を侵害し、政治を劣化させている政党助成法廃止法案の提出です。21議席に躍進し、議案提出権を得た方が、さっさと総揮

つきました。新しく当選した議員も真価を問われます。日本共産党が最初の躍進を果した1972年の総選挙では、20人を超える新人議員が当選し、国会内外で大きな活躍を見せました。今国会で14人の新人議員が初陣を飾るのは、72年以来のことです。この日五午、最初の衆院本会議で本会議場の議席配置が決まりました。記者席から議場を見渡すと、「いいいいお、よかった」といふ感慨を覚えます。一方、敵の上では自民党が圧倒しているという現実も、あらためて実感します。21議席で喜んでばかりはいられない。今国会で国民から与えられた力を存分に活用して、もっとも伸ばしたいといけな。そんな思いを新たにしました。

中野繁生(政治ジャーナリスト)
国共Kangaroo Partyの仲間
赤旗 日刊 3月号 2015年